

1月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川: 左右岸 当古橋～新城橋
			管轄出張所: 一宮出張所
実施日	令和 4年 1月 30日	実施区間	金沢橋周辺



もうすぐ節分、そして立春です。金沢橋周辺の堤防はきれいに草刈りがされ、ここそこに可憐で健気な水仙が咲いています。今朝、この堤防道路の上をトボトボと歩くタヌキを見かけましたが、車が来ると急いで河川敷の雑木林へ逃げ込んでしまいました。金沢橋の中央から豊川の上へ視線を進めると、本宮山がドッカーリと座っています。これはなかなかの絶景です。「北むきゃ本宮山」この地域は、北の方角を知る手掛かりが本宮山なのです。穏やかな冬の豊川と堤、そして本宮山も心癒す大切な自然の恵みと思います。



ところで、この地域は豊川に残された数少ない霞堤があるところです。上記左の写真には赤い金沢橋と土手があります。土手の端には鉄柱が建てられ、カメラが取り付けられています。隣には水位計が立てられています。この土手が、昭和44年の水害の後に築堤された新堤防ですが、この金沢橋の下で途切れています。珍百景。ここから増水時に遊水として流れ出るのでしょうか。ただ、この地域は下記右の写真にあるように、低い旧堤防も一部補修して残されており、通常増水には間に合っているのでしょうか。旧堤防も、川下に行くに従い低くなり、河川敷の雑木林と区別がつかなくなります。霞堤は先人の知恵、リスクマネジメントと思いますが、今日、その存在や仕組みを知らない人も多くなっているのではないのでしょうか。遊水エリアには、新築の洋風のおしゃれな家もたくさんあります。

今年も、豊川が安らかでありますよう、祈ります。

河川愛護モニター